



## 市長・副市長に活動報告

2月9日(火)、ワーキンググループメンバー6人が市役所を訪れ、長尾市長、古川副市長らに活動報告とまちづくり事業などの提案を行いました。

## 事業提案を予算化へ

ワーキンググループから提案した事業のうち、「**平川市アートフェスティバル**」と「**飲食店パンフレット制作事業**」は、令和3年度の実現のため予算案に計上され、3月議会で審議されることになりました。

また「平川市EDMフェスティバル」については、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、今後も具体化に向けて経費や内容の検討を続けていきます。

長尾市長より「**新しい平川市を作るんだという情熱や意志を持って、新しいことにどんどんチャレンジしてほしい。**」と激励をいただきました。

みんなで考えた事業が、いよいよ実現に向けて動き出します！！



### ○出席者

長尾市長  
古川副市長  
西谷企画財政部長  
対馬企画財政課長

### (メンバー)

尾田 隼人  
福士 雄大  
寺山 乃映  
船水 滉太  
今井 野々歌  
葛西 ひな

### (メンター職員)

成田 隼輝  
齋藤 舜也  
中畑 郁美  
佐藤 千尋

## 「(仮称) 平川市若者議会」 → 「平川市ユース議会」へ

令和3年度から本格的に活動する組織の名称について、ワーキンググループで選考された「平川市ユース議会」を提案し、市長から賛同をいただきました。

“若さ”や“青年”を意味するユース (YOUTH)に、若者のエネルギーや未来への希望を込めて、これからの活動に取り組んでいきます。



## 参加メンバーの声（活動の感想）



尾田 隼人

平川市を変えていける立場にあるのがありがたい。  
この経験を生かして挑戦したい。

みんなの声が形になる環境があることは幸せ。  
平川市をよくしていきたい。



福士 雄大



船水 滉太

事業を考えて実現できることは貴重な体験。  
若い人が活躍できる場は大切。

参加するのがとても楽しかった。  
ワクワクしながら活動できた。



今井 野々歌

自分たちの提案が実現していくのがうれしい。  
市のことも知ることができた。



寺山 乃映

ユース議会を通して市と住民の双方向のコミュニケーションを進め、地域に関心をもってもらいたい。



葛西 ひな

## 市長からのエール

これからは、行政だけではなく、自分たちの手で暮らしやすいまちを作っていかなければならない。  
チャレンジ精神を忘れず、事業を実施する中からまた新たな企画を出して、さらに盛り上げていただきたい。

